

## 10 危険物類

【関連章第4章2】

### 事例1 「建築物工事現場で自然発火により出火した火災」

出火時分 10月 22時頃  
用途等 建築物築工事現場  
被害状況 防音シート3枚焼損  
概要

この火災は、建築物工事現場から出火したものです。

出火原因は、工事現場内に置かれた生石灰と雨水が発熱反応を起こし、生石灰の上に置かれていた防音シートに着火し、出火したものです。

通行人の男性は、工事現場の前を通る際に現場内で白煙が上がっているのを発見したため、自分の携帯電話で119番通報をしています。工事現場にはフェンスがあったため、初期消火は実施できませんでした。

#### 教訓等

生石灰は、別名を酸化カルシウム（CaO）といい、水との接触若しくは空気中の水分を吸収し発熱する禁水性の物質です。水を加えると反応熱が発生するため、可燃物と接触していると火災に至る可能性があります。取扱う際には製品の取扱いの注意事項をよく読み、保存方法や取扱方法に注意する必要があります。

また、生石灰（酸化カルシウムの80%以上含有するもの）を取り扱う場合は、数量によっては管轄消防署に届出する必要があります。該当する際にはお近くの消防署へお問合せ下さい。

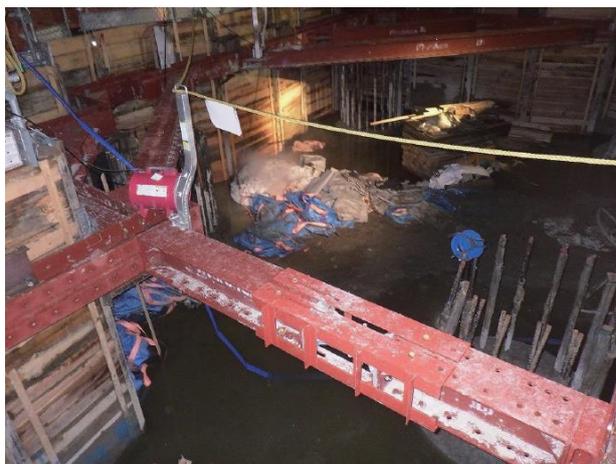


写真 10-1 出火時の状況



写真 10-2 焼損した生石灰の状況